

項目	内容
名称	セージ (スパニッシュセージ) 、サルビア [英]Sage、Common sage、Dalmatian Sage、Garden Sage [学名]Salvia officinalis L. (Salvia lavandulaefolia)
概要	<p>セージはヨーロッパ南部、地中海沿岸地方が原産の高さ30～90 cmの多年草である。花期は5～6月、青紫色の唇形花が円錐形の総状花序に10～12個つく。7～8月に葉を採集し、陰干しにしたものが薬用や香辛料として利用される。</p>  <p>写真提供: 薬用植物資源研究センター</p>
法規・制度	<p>■ 食薬区分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サルビア (セージ) 葉：「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質 (原材料)」に該当する。 <p>■ 食品添加物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存添加物 セージ抽出物：酸化防止剤 香辛料抽出物 (スパイス抽出物/香辛料/スパイス)：苦味料等
成分の特性・品質	<ul style="list-style-type: none"> ・天然香料基原物質リスト セージが記載されている。 <p>■ 海外情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・米国では、GRASに該当する。

主な成分・性質	・精油成分として、 α -および β -ツヨン (thujone)、ローズマリン酸 (rosmarinic acid)、カルバクロール (carvacrol)、ルテオリン (luteolin)、リナロール (linalool)、 α -テルピネオール (α -terpineol) などを含む。
分析法	・ローズマリン酸をHPLC法により定量した報告がある (PMID:16176651)。
有効性	
ヒ ト での 評価	RCT ・高脂質血症患者67名 (平均 56.4 ± 30.3 歳、試験群34名、イラン) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、セージ葉抽出物500 mg \times 3回/日を2ヶ月間摂取させたところ、血中脂質 (TC、TG、VLDL-C) の低下と血中脂質 (HDL-C) の上昇が認められた (PMID:21506190)。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	RCT ・軽度から中程度のアルツハイマー病患者30名 (試験群15名、平均 71.78 ± 3.67 歳、イラン) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、 <i>S. officinalis</i> 抽出物60滴/日を16週間摂取させたところ、症状評価 (ADAS-cog、CDR-SB) の改善が認められた (PMID:12605619)。 ・健康な成人18名 (平均19.7歳、イギリス) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、 <i>S. lavandulaefolia</i> の精油50 μ L、100 μ L、150 μ Lを単回摂取させたところ、50 μ L摂取時に単語記憶テスト (Immediate word recall、Delayed word recall) 結果の向上が認められた (PMID:12895685)。 ・健康な成人16名 (平均23.21歳、イギリス) を対象とした二重盲検クロスオーバー無作為化プラセボ対照試験において、 <i>S. lavandulaefolia</i> の精油25 μ L、50 μ Lを単回摂取させたところ、50 μ L摂取時に単語記憶テスト (Immediate word recall、Delayed word recall) 結果 (PMID:12895685)、認知機能・気分評価13項目中7項目 (PMID:15639154)、25 μ L摂取時に認知機能・気分評価13項目中4項目 (PMID:15639154) で向上が認められた。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第1版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(22) メディカルハーブ安全性ハンドブック 第2版 東京堂出版 林真一郎ら 監訳
(30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
(58)The Complete German Commission E Monographs
(67) ESCOP Monographs 2nd ed Thieme
(103)Herb Contraindications and Drug Interactions. 2nd ed. Sandy, OR:
Eclectic Medical Publications, 1998.
(104)Personenstand der Ludwig-Maximilians-Universität
München. 1934;Sommer-Halbjahr:1-25.
(105) Z Ges exp Med.1940;107(2):267-74.
(106) Arch Derm Syph. 1930 Oct;162(1):135-51.
(107) Arch Pathol Anat Physiol. 1932;287(2):297-308.
[\(PMID:12605619\) J Clin Pharm Ther. 2003 Feb;28\(1\):53-9.](#)
[\(PMID:12895685\) Pharmacol Biochem Behav. 2003 Jun;75\(3\):669-74.](#)
[\(PMID:15639154\) Physiol. Behav. 2005;83:699-709.](#)
[\(PMID:16176651\) J Chromatogr Sci. 2005 Aug;43\(7\):372-6.](#)
[\(PMID:21392032\) Contact Dermatitis. 2011 Apr;64\(4\):237-8.](#)
[\(PMID:17214607\) Basic Clin Pharmacol Toxicol. 2007 Jan;100\(1\):23-30.](#)
[\(PMID:21506190\) Phytother Res. 2011 Dec;25\(12\):1849-53.](#)
[\(PMID:18331390\) Basic Clin Pharmacol Toxicol. 2008 May;102\(5\):466-75.](#)
(20) ハーブ大百科 誠文堂新光社 デニ・バウン
[\(PMID:11799306\) Forsch Komplementarmed Klass Naturheilkd.](#)
[2001 Dec;8\(6\):373-82.](#)
[\(PMID:10460442\) J Neurol. 1999 Aug;246\(8\):667-70.](#)
[\(PMID:12895683\) Pharmacol Biochem Behav. 2003 Jun;75\(3\):651-9.](#)